

離島の玉手箱プロジェクト「島リレートーク」レポート

第1回 礼文島 小野 徹 町長（礼文町）

～礼文島の山の宝～ 景色を彩る高山植物

はじめに

新型コロナウイルスの影響が続く中、北海道内の離島を応援するため、北海道、道内離島町、関係団体が一体となって進めている「離島の玉手箱プロジェクト」。

このプロジェクトの一環として、令和2年9月18日（金）、北海道庁本庁舎において離島町長による連続セミナー「島リレートーク」（第1回）が開催されました。

島リレートークは、道内各離島町長が持ち回りで講師を務める連続セミナーで、テーマも町長が関心のある事や、町長目線の島の魅力など様々。町長だから知っているその島のお話を聞くことができる大変貴重な機会です。

第1回目は、礼文町小野町長を講師に迎え、礼文島を彩る高山植物等について、ご講演いただきましたので、当日の様子を少しご紹介します。

礼文島の『3つの宝』

まず、礼文島にはたくさんの方に誇れる「3つの宝」があることを説明されました。

1つめの宝・・・礼文島の昆布や豊富な魚介類など、日本の和食を支えてきた『海の宝』

2つめの宝・・・礼文島にしかない希少な高山植物に代表される『山の宝』

3つめの宝・・・礼文島にある55カ所もの先史・古代の遺跡『地の宝』



礼文島の魅力を熱く語る小野町長



桃岩展望台トレッキングコースから望む利尻富士（利尻島）

その中で、「花の浮島」と呼ばれる所以でもある「山の宝」高山植物について、詳しくお話を伺いました。

町長ご自身も高山植物が大好きで、お休みの日にはカメラを抱えて花の写真を撮りに島のあちこちに出かけているそうです。

また、これから礼文島に行く方のために、町長お薦めのトレッキングコース「桃岩展望台コース」もご紹介いただきました。

体力に自信が無い方も安心のコースで、季節によってたくさんの花々を観ることができ、コースの終点にある「北のカナリアパーク」は、2013年に映画「北のカナリアたち」の撮影で使われた学校校舎をそのまま保存している公園で、今年の春にオープンした公園近くのカフェでは、美味しいコーヒーと最高の景色を楽しむことができます。

このほか、町長は、レブンの名を冠した『レブンアツモリソウ』など、たくさん希少植物のお話を熱く語ってくださいました。



レブンアツモリソウ

会場では・・・

会場の中には、植物が大好きで毎年礼文島に行っている方や、今年は残念ながら行けなかったが来年こそは行ってみたいと、町長のセミナーを楽しみにして来た方など、礼文島が好きなたくさんの方にお集まりいただきました。



会場には、礼文島が好きな方が多く集まりました

ソーシャルディスタンスのため、来場された方全員が会場に入ることはできませんでしたが、会場外のサブモニターで熱心に町長のお話に耳を傾ける方もいて、30分と短い時間でしたが、その時間は会場が礼文島の空気に包まれているようでした。

セミナーの終わりには、次回のリレートーク講師である利尻富士町の田村町長からもビデオメッセージをいただき、小野町長から田村町長にバトンタッチされました。

島リレートーク第2回に向けて

島リレートーク第2回は、11月下旬です。

詳細が決まり次第、離島ポータルサイトや関連ウェブサイト、SNSで情報をお伝えしますので、皆さん楽しみに！